

①

「九九を見なおそう」

P.9



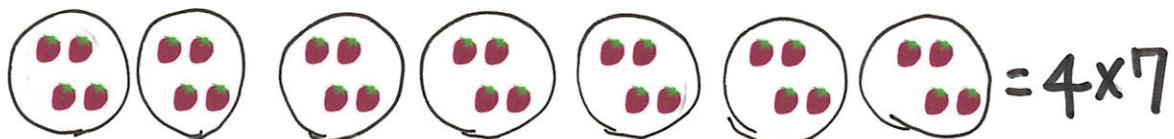
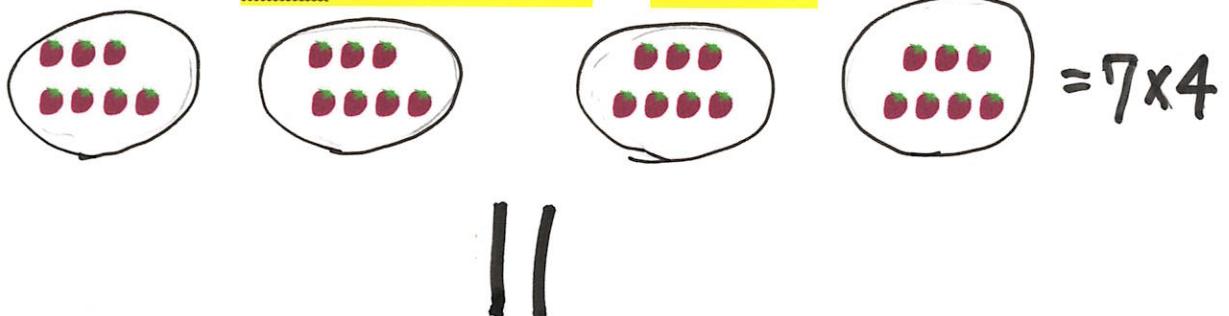
7×4 の答えの見つけ方を考えましょう。

P.10 考え方 → 今まで習ったかけ算のきまりを思い出しましょう。

① 3人の考えをせつ明しましょう。

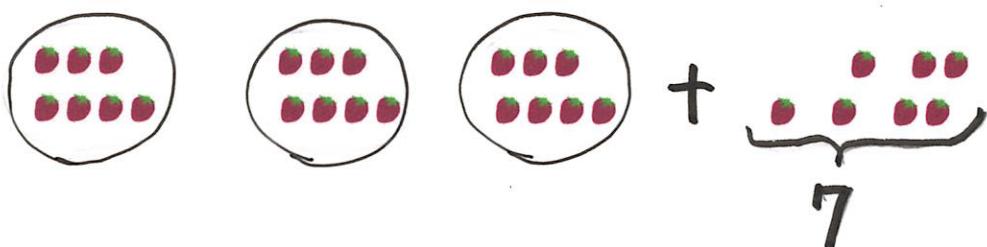
・はるとくんは、かける数とかけられる数を交換しても答えは同じだから、

7×4 の答えは、 4×7 の答えと同じになる。 $7 \times 4 = 4 \times 7$



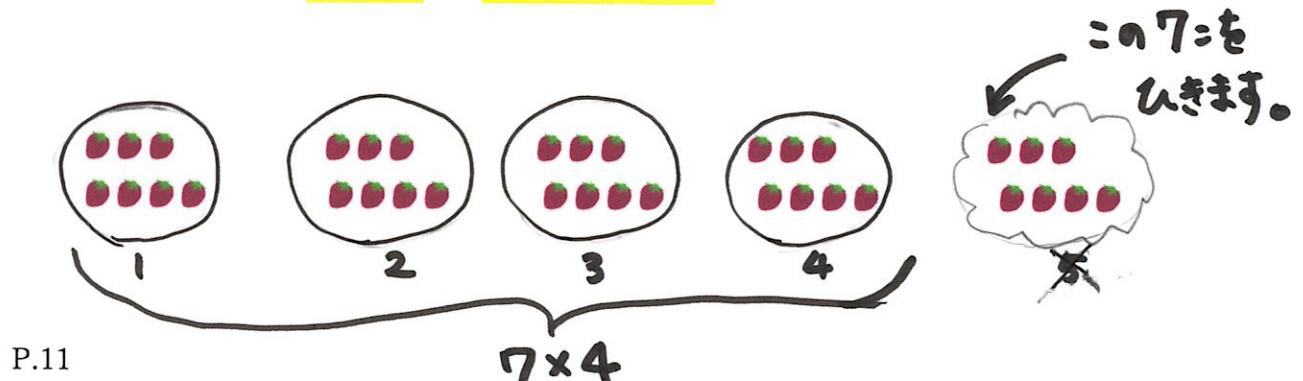
・みさきさんは、 7×4 の 4 よりかける数が 1 小さい 3 だから、

かけられる数分の 7 を足す。 $7 \times 3 + 7 = 7 \times 4$



- ・あみさんは、 7×4 の 4 よりかける数が 1 大きい 5 だから、

かけられる数分の 7 を引く。 $7 \times 5 - 7 = 7 \times 4$



1

9×3 の答えの見つけ方を 3 人の考え方を使って考えましょう。

- ・はると→ 9×3 の答えは、 3×9 の答えと同じ。 $9 \times 3 = 3 \times 9$
- ・みさき→ 9×3 の答えは、 9×2 の答えより 9 大きい。 $9 \times 3 = 9 \times 2 + 9$
- ・あみ→ 9×3 の答えは、 9×4 の答えより 9 小さい。 $9 \times 3 = 9 \times 4 - 9$

れんしゅうもんだい 練習問題

8×6 の答えの見つけ方を 3 人の考え方を使って考えましょう。

答え ① $8 \times 6 = 6 \times 8$

① $8 \times 6 = 8 \times 5 + 8$

② $8 \times 6 = 8 \times 7 - 8$



① 横に 30、35、で 5 ずつ増えているのが分かるから、答えののところには 40 が入る。

たてに 32、, 48 で 8 ずつ増えていることが分かる。

② 横に, 18、24 で 6 ずつ増えているのが分かるから、答えののところには 12 が入る。

たてに, 14、16 で 2 ずつ増えていることが分かる。

③ 左はじめ、たてに 9、12、で 3 ずつ増えているのが分かる。答えののところには 15 が

入る。

④ 真ん中は、たてに, 16、20 で 4 ずつ増えていることが分かる。答えののところには 12

が入る。

練習問題

①

4	8	12
6	12	
8	16	24

②

10	15	20
	20	24
22	25	28

③

24	32	40
32		48
40	48	56

答え

① 18

② 16

③ 40



こうたさんは、 9×7 の答えを次のように考えてもとめました。

こうたさんの考え方をせつ明しましょう。

9×7 のかけられる数9を分けて考えましょう。

9を5と4に分けて考えます。そうすると

$$\begin{array}{r}
 5 \times 7 = 35 \\
 4 \times 7 = 28 \\
 \hline
 \text{あわせて} & 63
 \end{array}$$

① こうたさんの考え方と同じように、かけられる数の9を2つの数に分けて

計算し、答えをたしかめましょう。

たとえば、9を6と3に分けて

$$\begin{array}{r}
 6 \times 7 = 42 \\
 3 \times 7 = 21 \\
 \hline
 \text{あわせて} & 63
 \end{array}$$

※他の分け方もあります。
たとえば、
 $\left. \begin{array}{l} \cdot 9を2と7に分ける \\ \cdot 9を1と8に分ける \end{array} \right\} \text{OK.}$

まとめ

かけ算では、かけられる数を分けて、計算しても答えは同じになる。



① 9×8

$$9 \times 8$$

$$3 \times 8 = 24$$

$$6 \times 8 = 48$$

あわせて 72

② 7×6

たとえば、 7×6

$$3 \times 6 = 18$$

$$4 \times 6 = 24$$

あわせて 42

p.13

3

しほさんは、 9×7 の答えを下のように考えてもとめました。

しほさんの考え方をせつ明しましょう。

① 9×7

$$9 \times 7$$

$$9 \times 3 = 27$$

$$9 \times 4 = 36$$

あわせて 63

この7を
3と4に分けて

まとめ

かけ算では、かける数を分けて計算しても、答えは同じになる。



$$\begin{array}{r} \textcircled{1} 9 \times 8 \\ \swarrow \quad \searrow \\ 9 \times 3 = 27 \\ 9 \times 5 = 45 \\ \hline \text{あわせて} & 72 \end{array}$$

たとえば、

$$\begin{array}{r} \textcircled{2} 7 \times 6 \\ \swarrow \quad \searrow \\ 7 \times 3 = 21 \\ 7 \times 3 = 21 \\ \hline \text{あわせて} & 42 \end{array}$$

※他の分け方もあります。

P.14



かけられる数やかける数が10のかけ算の答えのもとめ方を考えましょう。

① 10×4 の答えをもとめましょう。

みさきさんの考え方：10が4つだから、 $10+10+10+10=40$

しほさんの考え方：かけられる数の 10 を 7 と 3 に分けて

$$\begin{array}{r} 10 \times 4 \\ \swarrow \quad \searrow \\ 7 \text{ と } 3 \text{ に } / \text{ 分ける} \end{array}$$
$$\begin{array}{c} 7 \times 4 = 28 \\ 3 \times 4 = 12 \\ \hline \text{あわせて} & 40 \end{array}$$

※他の分け方もあります。

② 6×10 の答えをもとめましょう。

③3人の考え方をせつ明しましょう。

りくさん→6と10をこうかんしても答えは同じだから。 $6 \times 10 = 10 \times 6$ 答え 60

はるとさん→ $6 \times 10 = 6 \times 9 + 6$

あみさん→かけられる数の10を2と8に分けて

$$\begin{array}{r} 6 \times 10 \\ \swarrow \quad \searrow \\ 2 \text{ と } 8 \text{ に } / \text{ 分ける} \end{array}$$
$$\begin{array}{c} 6 \times 2 = 12 \\ 6 \times 8 = 48 \\ \hline \text{あわせて} & 40 \end{array}$$

④は、授業で取り組みます。

まとめ

かけられる数やかける数が10のかけ算も、かけ算のきまりを使えば、答えを、もとめることができます。



7人に、10まいずつ色紙を配ります。

色紙は、全部で何まいりますか。

今までならったかけ算のきまりをつかいます。

※ひとつ(ずつ)分×いくつ=ぜんぶの数

$$10 \times 7 = 70$$

答え 70まい

P.1 5～21は、授業で取り組みます。

P.2 2 かける数とかけられる数



□にあてはまる数を見つけましょう。(九九の表をつかったり、じゅんに数をあてはめたりしてみよう。)

$$(1) 3 \times 8 = \square \rightarrow \text{九九をつかって} \quad \text{答え、}\square\text{は}24$$

$$\textcircled{1} \quad (2) 8 \times \square = 56 \rightarrow 8 \text{の}\overset{\text{だん}}{\text{段}}\text{をつかって} \quad \text{答え、}\square\text{は}6$$

$$\textcircled{2} \quad (3) \square \times 6 = 30 \rightarrow \text{かける数とかけられる数はこうかんして答えをもとめられるから}$$

$$6 \text{の段を使って} \quad 6 \times \square = 30 \quad \text{答え}\square\text{は}5$$

1 □にあてはまる数をもとめましょう。

- ① $3 \times \square = 18$ 3の段をつかって 答え、□は6
- ② $7 \times \square = 63$ 7の段をつかって 答え、□は9
- ③ $4 \times \square = 32$ 4の段をつかって 答え、□は8
- ④ $\square \times 4 = 16$ 4の段を使って $4 \times \square = 16$ 答え□は4
- ⑤ $\square \times 8 = 16$ 8の段を使って $8 \times \square = 16$ 答え□は2
- ⑥ $\square \times 6 = 42$ 6の段を使って $6 \times \square = 42$ 答え□は7

練習問題

- ⑦ $5 \times \square = 25$ 5の段をつかって
- ⑧ $8 \times \square = 64$ 8の段をつかって
- ⑨ $7 \times \square = 42$ 7の段をつかって
- ⑩ $\square \times 2 = 16$ 2の段を使って
- ⑪ $\square \times 9 = 54$ 9の段を使って
- ⑫ $\square \times 3 = 24$ 3の段を使って

答え ⑦□=5 ⑧□=8 ⑨□=6 ⑩□=8 ⑪□=6 ⑫□=8

②は授業で取り組みます。

P.2 3～26は、授業で取り組みます。

②「時こくと時間のもとめ方を考えよう」

P28



学校を8時40分に出て、30分歩くと商店がいに着きました。

着いた時こくは、何時何分ですか。

30分後の時こくのもとめ方を考えましょう。

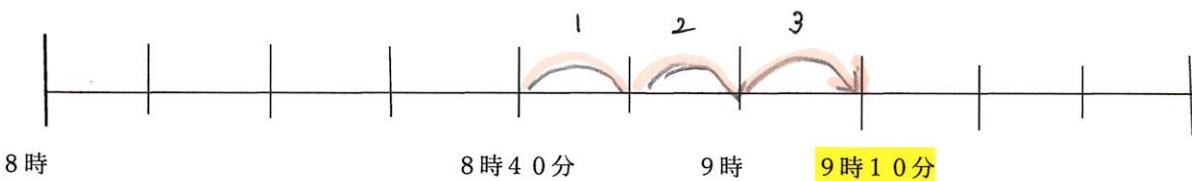
☆ちょうどどの時こくをもとに考えてみよう。

- 8時40分から9時までにかかる時間は20分です。

残りの10分($30 - 20 = 10$)を9時から加えると→9時10分になりますね。

☆教科書の下にある数直線を使ってみよう。

- 目もりは、1時間ごとに6つに分かれているので、1目もり10分として見ます。



8時40分から30分後なので右に3つ目もりを動かすと9時10分になります。

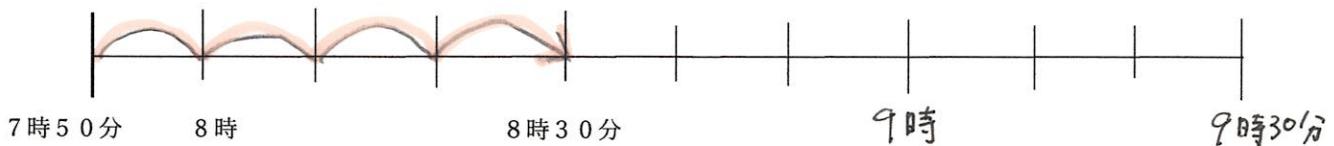


① 7時50分から40分後の時刻をもとめましょう。

・7時50分から8時までにかかる時間は10分です。

残りの30分($40 - 10 = 30$)を8時から加えると→8時30分になります。

・目もりは、1時間ごとに6つに分かれているので、1目もり10分として見ます。



7時50分から40分後なので右に4つ目もりを動かすと8時30分になります。

答え 8時30分

練習問題

① 10時20分から50分後の時刻をもとめましょう。

② 11時40分から40分後の時刻をもとめましょう。

① 答え 11時10分

② 答え 12時20分



商店がいを9時50分に出て、公園に10時10分に着きました。商店がいから公園まで、かかった時間は何分ですか。

時間のもとめ方を考えよう。

☆ちょうどどの時刻をもとに考えてみよう。

9時50分まで10時までにかかる時間は10分(間)です。

公園に10時10分にいたので、

10時から10時10分まで10分(間)だから、 $10\text{分(間)} + 10\text{分(間)} = 20\text{分(間)}$

答え20分



10時30分から11時10分までの時間をもとめましょう。

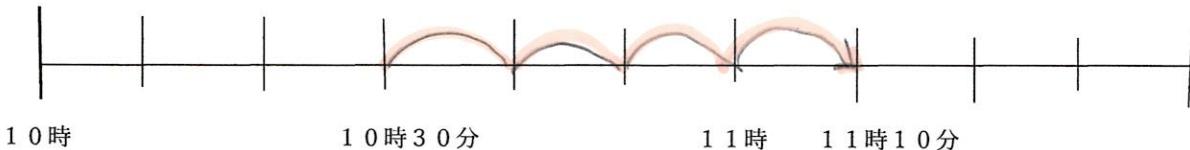
考え方→10時30分から11時までにかかる時間は30分(間)です。

11時00分から11時10分まで10分(間)だから、 $30 + 10 = 40$

答え40分

☆数直線を使うと、

10時30分から11時10分まで目もり4つ分。



1目もり10分だから40分となります。



10時40分から11時15分までの時間をもとめましょう。

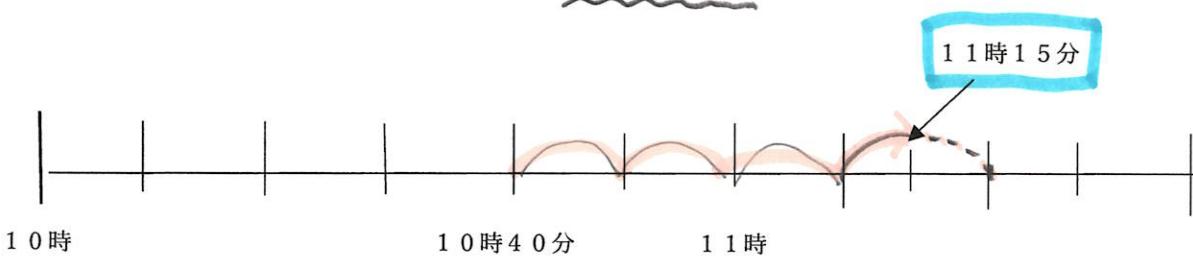
考え方→10時40分から11時までにかかる時間は20分(間)です。

11時00分から11時15分まで15分(間)だから、 $20 + 15 = 35$

答え35分

☆数直線を使うと、

10時40分から11時15分まで目もり3つ分と半分。



1目もり10分だから半分は5分になります。

3つ分で30分、半分で5分。合わせて、35分となります。

練習問題

① 8時50分から9時15分までの時間をもとめましょう。

② 9時35分から10時15分までの時間をもとめましょう。

① 答え 25分

② 答え 40分

P 30



公園を出て30分歩いて、学校に11時10分に着きました。公園を出た時刻は、何時何分ですか。

↓

公園を出て30分歩いて、学校に11時10分に着いたので、

11時10分より30分前に公園を出ているので

11時10分から30分、時間をもどします。

① ちょうどどの時刻をもとに考えてみましょう。

11時10分から10分もどって11時ちょうどになります。

さらに、20分 (30分 - 10分 = 20分) もどすから

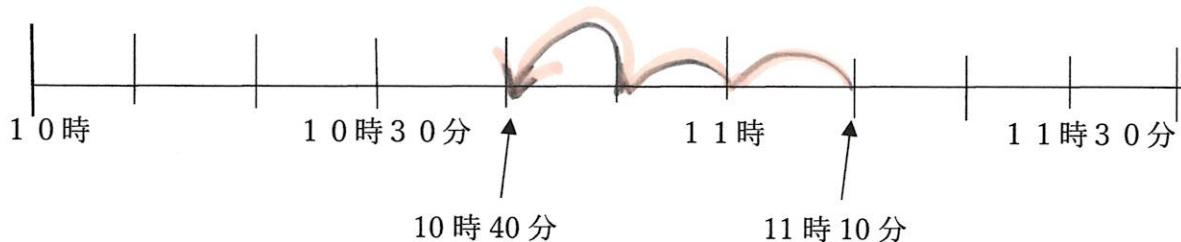
10時40分になります。

答え 10時40分

② すうちょくせん 数直線を使うと、

11時10分から30分前にもどすには、目もりを3つ分、左へうごかすと

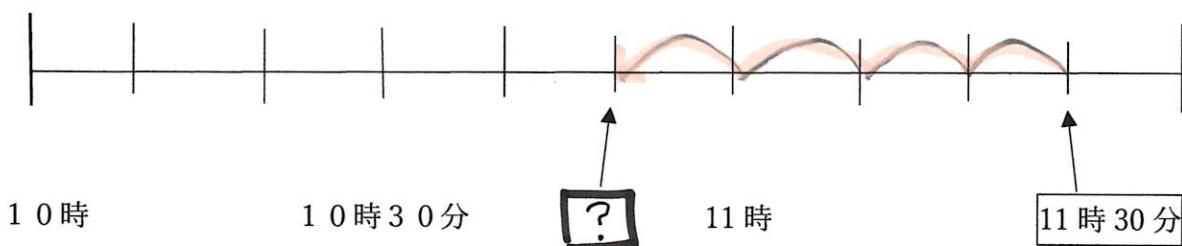
10時40分になります。



4

11時30分から40分前の時こくをもとめましょう。

すうちょくせん 数直線を使うと、11時30分から4つ左にうごかす(もどす)と



ちょうどの時こくをもとに考えてみましょう。

11時30分から30分もどって11時ちょうどになります。

さらに、10分(40分 - 30分 = 10分)もどすから

10時50分になります。

答え 10時50分



みほさんの家から病院まで20分かかります。10時10分までに病院に着くためには、
おそらくとも何時何分までに家を出なければならぬでしょうか。

ちょうどの時刻をもとに考えてみましょう。

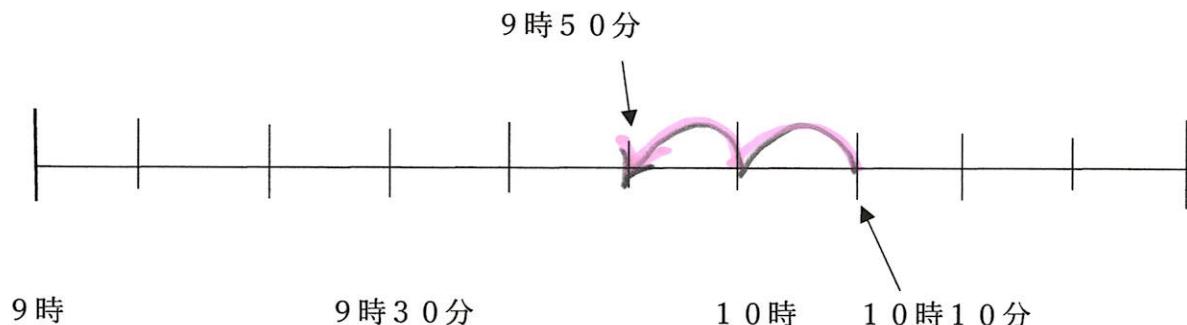
10時10分から10分もどって10時ちょうどになります。

さらに、10分(20分 - 10分 = 10分)もどすから

9時50分になります。

答え 9時50分

すうちょくせん
数直線を使うと、10時10分から2つ左にうごかす(もどす)と





商店がいにいた時間は 40 分、公園にいた時間は 30 分です。

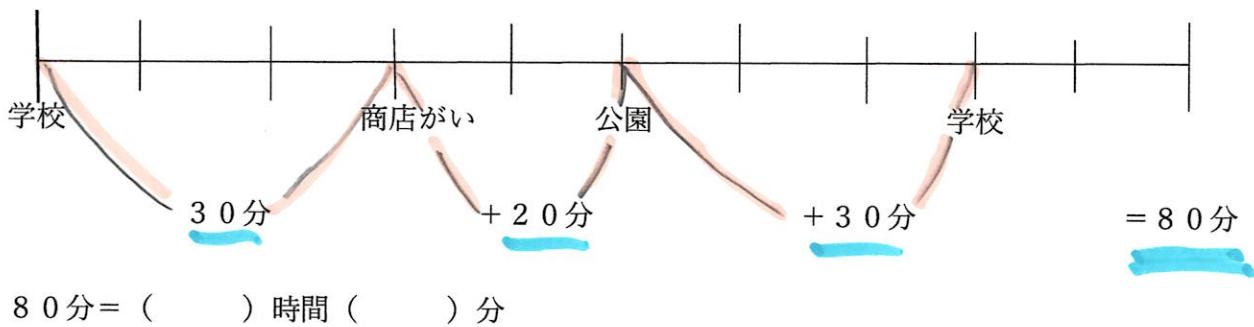
あわせて何時間何分ですか。

$$40 \text{ 分} + 30 \text{ 分} = 70 \text{ 分}$$

1 時間 = 60 分だから、70 分は 1 時間 10 分

学校から商店がい	30 分
商店がいから公園	20 分
公園から学校	30 分

① 町のようすを調べに行くのに歩いた時間は、全部で何時間何分ですか。



答え 1 時間 20 分



たいきさんは、

→ しんせきの家へ遊びに行くのに、電車とバスを使いました。

まず、電車に 1 時間 50 分乗り、その後、バスに 20 分乗りました。

乗り物に乗った時間は、あわせて何時間何分ですか。



かんが かた
考え方

1時間50分+20分=

1時間50分に10分をくわえると2時間。それから、のこりの10分をくわえる。

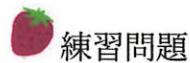
たん い
単位を分にそろえて、

1時間50分=110分

110分+20分=130分

130分=2時間10分

答え 2時間10分



練習問題

空港へ行くのに、バスと電車を使って行きました。^{さいしょ}最初にバスに1時間45分乗り、

次に、電車に45分乗りました。乗り物に乗った時間は、あわせて何時間何分ですか。

かんが かた 考え方

1時間45分+45分=

1時間45分に15分をくわえると2時間。

それから、のこりの30分をくわえる。

たんい
単位を分にそろえて、

1時間45分=105分

105分+45分=150分

150分=2時間30分

答え 2時間30分

P32～33は、授業で取り組みます。

ーなかむらまよりー

「算数、ちょっとにが手。」
そんな子もいるんじゃないかな。
先生も子どものころはにが手
でした。でも、でさるようになると
なかなかおもしろいんだよね。
分からぬ時は分から
ないって教えてね。
いっしょに楽しく学習して
いこう!」



ーすずき先生よりー

算数がとくいな人。
にが手な人。
それぞれ、みんなちがう
けれど、
わからぬいことか
あっても、あきうめないで
がんばれると
いいね。
いっしょに
がんばろうね!

